

羅 針 盤			関係する分掌	方 策	第1回点検・評価			第2回点検・評価		
評価対象	評価項目	具体的数値項目			自己評価	外部アンケート	改善策	自己評価	外部アンケート	改善策
I 生徒の地域における豊かな生活の実現に向けて努めていますか。	1 保護者、地域、関係機関に学校の教育活動について、具体的に伝えていますか。	①学校公開を年間7回実施し、来校者の90%以上が満足をしている。	教務企画	・学校参観日、授業参観日、学校公開日、こうよう祭、体育祭等を設定し、授業の様子や学習の成果を紹介する。	/	/	9月以降に実施を予定しているので、準備を進める。	A	A	今後も中学校の教員、地域・事業所の方に授業の様子を見てもらえるように努め、中学校から本校、そして社会へとつながる教育支援の流れを構築していく。各種のたよりやWebページの更なる充実を図り、保護者や地域の方々への情報発信に努め、学校としての説明責任を果たす。
		②Webページや学校からのたより等で情報発信を行い、保護者の90%以上から満足を得ている。	情報管理	・Webページや学年通信等で学校の様子を紹介する。 ・学校からのたよりについては、生徒の様子を的確に伝えられるよう、紙面を工夫する。	A	A	Webページを更に充実させ、保護者や地域に情報発信する。	B	A	職員会議や研修等で職員の共通理解を徹底するために意義・作成方法について確認する。面談では保護者へ丁寧な説明や話し合い、卒業後を意識した目標設定や支援方法を策定する。
	2 保護者、地域、関係機関との共通理解が深まり、有効な支援が行われていますか。	③「個別の教育支援計画」について、保護者の90%以上が内容に満足している。	学習	・保護者面談及びケース会議等において、「個別の教育支援計画」の内容について、合意形成を図る。	A	A	今後も保護者面談及びケース会議において生徒及び保護者のニーズを把握し、改善を図る。	A	A	リモートや映像による間接交流、人数を限定というかたちで、交流を模索していきたい。
		④交流及び共同学習について、年1回以上実施し、保護者や関係機関の90%以上が満足をしている。	交流教育	・学校間交流を実施し、活動の様子をwebページや学年通信、保護者会、学校評議員会等で知らせる。	/	/	双方の受け入れ体制が十分に取れず実施することができなかった。	A	A	
II 地域の特別支援に関するセンター的な役割を果たしていますか。	3 障害のある児童生徒の教育について、助言援助に努めていますか。	⑤地域の高等学校等の求めに応じて相談・支援等を100%実施する。	コーディネーター	・相談依頼内容に応じて日程調整を速やかに行う。 ・各高等学校のニーズに沿ったアドバイスができるように、学校風土なども理解しながら柔軟な姿勢で相談に当たり、実践可能な支援方法をアドバイスするよう努力する。	A	A	8月までに252件の相談業務を行った。訪問校のニーズに合わせて支援を行っていく。	A	A	1月までの訪問相談数が595件と多かったため、業務の効率化を工夫していく。
		⑥学校参観日・相談日を中心に本校への来校者を積極的に受け入れ、来校者の90%以上が満足をしている。	コーディネーター	・地域の小・中・特別支援学校に対して、開催日を通知する他、複数回参加可能なことを伝えたり、開催日以外にも対応できる柔軟な受け入れ態勢であるということも伝える。	/	/	学校参観は実施できず相談日のみ行った。3密を避けるため中学3年生を中心に2学期から学校参観を行う。	A	/	学校参観や相談日の参加状況をWebで公開する等として、密を防ぎながらも参加しやすい環境を整えていく。
III 生徒一人一人の実態に応じた適切な指導をしていますか。	4 個に応じたきめ細かな指導を行っていますか。	⑦「個別の指導計画」の内容について保護者の90%以上が満足している。	学習	・保護者面談等で「個別の指導計画」について話し合い、共通理解を図る。	A	A	今後も保護者との個別面談を行い、共通理解を図りながら支援に生かしていく。	A	A	職員会議や研修等で職員の共通理解を徹底するために意義・作成方法について必ず確認し、記入例や参考例も資料として作成する。個別面談を実施し、丁寧な説明や確認、話し合いを行う。
		⑧運営委員会、学年会等において生徒の情報交換を毎回実施している。	生活指導	・運営委員会や学年会において、生徒の様子について情報交換をする機会を毎回設定し、職員会議等で全職員にその内容を周知する。 ・必要に応じて朝会で連絡し、全職員で共通理解を図る。	A	/	情報ができる限りリアルタイムで共有できるよう共通理解を図る。	A	/	共有すべき情報をできる限り速やかに周知するため、職員室ネットワークの掲示板をいっそう活用する。
		⑨生活習慣の定着を図るための家庭と学校が連携した取組に保護者の80%以上が満足している。	生活指導	・「あたりまえだけこの10万条」を活用し、学年通信やチェックシートなどを活用し、家庭と連携しながら、生活習慣の定着を図る。	B	B	学年だよりやWebページなどを通じてさらなる周知を図る。	B	B	学年だよりなど定期的な配布物を活用して家庭との連携を強める。
		⑩いじめ未然防止に向けた取組について保護者の90%以上が満足している。	生活指導	・いじめ防止基本方針について周知し、病気以外で3日以上欠席の続く生徒がいた場合は担任、学年、教育相談係が連携して対応する。 ・あいさつ運動の実施や教育相談週間を実施する。 ・相手の立場になって思いやりのある行動の大切さを継続的に伝えていく。	A	A	生徒同士の間関係に常に留意し、わずかな変化でも関わる教職員間での情報共有を図る。	A	A	教職員間での情報共有をより活性化し、学年ごとの取り組みが一樣となるように、調整を図る。
	5 指導内容の確実な定着を図る授業が行われていますか。	⑪授業改善のための研究授業・授業研究会・研修会等を年間4回実施している。	教務企画	・研修係が中心となって、研究授業・授業研究会・研修会等を計画・実施する。 ・一人2授業以上の授業参観を実施する。	B	/	今後も外部講師を招くなどし、授業改善が図られるよう、研修会を実施していく。	A	/	更に充実した研究授業・授業研究会・研修会等を計画・実施し、その成果がこれからの授業実践に活用できるようにしていく。

IV 健康や安全の確保に努めていますか。	6 健康に関する配慮や対応を適切に行っていますか。	⑫生徒一人一人の健康上の配慮や対応について、保護者の90%以上が満足している。	保健指導	<ul style="list-style-type: none"> 毎日の健康観察及び衛生検査を実施して、生徒の健康状態の把握と管理、生活習慣の確立に努める。特に学校生活で配慮が必要な生徒は、医師の指導にもとづき、保護者と連携して適切な健康管理に努める。 	A	A	心臓病などハイリスクな疾病を持つ生徒及び医ケア対象の生徒については、全員が医療機関を受診し、医師の指導を受けた。また、家庭と連携し「個別の緊急時対応マニュアル」を策定した。今後は、個別マニュアルを活用し、緊急時の通報・対応訓練を実施したい。	A	A	新型コロナウイルス感染症については、文科省や県教委のガイドラインに沿って予防対策を徹底した。これが奏功しインフルエンザやその他の感染症罹患者が見られなかった。今後も流行性の疾病については、常に流行状況や具体的対応、処置方法等の情報を提供したり、必要な物品を準備したりするなどして、生徒の健康管理に努めたい。
		⑬健康診断終了後、受診が必要な生徒の受診率が80%以上である。	保健指導	<ul style="list-style-type: none"> 疾病疑いのある生徒に、結果受理後速やかにその結果を通知する。 疾病を持つあるいは疾病疑いのある生徒の受診状況等を把握し、受診や治療を勧める。 			10月以降に実施を予定しているので、結果受理後速やかに通知できるよう準備を進める。	B	A	新型コロナウイルス感染症流行が治療勧告者の受診率低下につながった。歯科については、受診率60%弱と特に低かった。今年度は予防歯科の観点から1年生でブラッシング指導の拡充を図った。来年度からは、2・3年生についてもブラッシング指導を充実させるなど予防歯科と歯科疾患の治療推進を並行して実施、充実させたい。
	7 危機管理体制が確立され、緊急時への備えができていますか。	⑭危機管理マニュアルをもとに、緊急時の対応策（避難訓練）を年3回以上実施している。	安全対策	<ul style="list-style-type: none"> 危機管理マニュアルの充実を図るとともに、避難訓練や職員研修の実施を年間計画の中に明確に位置付ける。 	B		前期は地震時の避難訓練にかわり防災教育「地震から身を守る」を各学級にて実施した。後期はその他の避難訓練を予定通り実施していくので、準備を進める。	A	A	後期は各種避難訓練を予定通り実施できた。荒天時の学校対応についてガイドラインを作成し、保護者に周知した。また生徒に対しては、ガイドラインを中心に防災教育「大雨や大雪から身を守る」を各学級にて実施した。今後も避難訓練だけでなく各種防災教育の充実も図っていききたい。
		⑮危機管理に関する職員研修を年3回以上実施している。	安全対策	<ul style="list-style-type: none"> 普通救命講習（AEDの扱いを含む）や不審者対応の職員研修を関係機関と連携、協力して行う。 危険箇所や危険状況が確認された時、初期対応を直ちに行う。 	B		不審者対応訓練を警察と連携して実施した。その内容を12月の避難訓練に生かすよう計画し、準備を進める。AEDの扱いを中心とした一般救命講習を日本赤十字社と連携し、11月に実施予定である。	A		職員向け一般救命講習を日本赤十字社と連携して実施した。なお心肺蘇生法の改定についてはマニュアル及び動画を校内のネットワーク上で共有し周知を図った。また医ケア生徒を対象とし、緊急対応ならびに通報の訓練を実施した。今後も生徒の安全確保及び迅速な緊急対応が図れるよう研修と訓練を重ねたい。
V 将来の生き方に結びつく進路指導を行っていますか。	8 キャリア教育の視点から、指導内容を整理して系統的な指導を行っていますか。	⑯進路学習について、進路講演会等を年3回以上実施し、保護者の90%以上が満足している。	進路対策	<ul style="list-style-type: none"> 進路講演会や生徒が体験的活動ができる機会を、年3回以上実施する。 学年主任会議で学年間の情報交換を適切に行う。 	B		今後、進路講演会や各種体験研修が予定されている。学年間の情報交換を常時行っていく。	B	A	進路講演会や体験研修など、形態を工夫して行った。今後も情勢を見ながら工夫し実施する。
	9 保護者、関係機関との連携のもとに生徒の特性に応じた進路指導を行っていますか。	⑰進路先や関係機関との連携について、保護者の90%以上が満足している。	進路対策	<ul style="list-style-type: none"> 支援協議会に進路指導主事が出席し、地域の福祉サービス事業所等と情報交換ができるようにする。 ハローワーク、労働政策課、障害者就業・生活支援センター（わーくさぽーと）と共催で企業向けの学校見学会を実施する。 	B	A	支援協議会が未開催であるが、電話連絡などで情報交換できるように努める。	A	A	電話やメールなどのやりとりで、情報収集に努める。2月に企業向けの学校見学会を実施した。今後も、企業への障害者雇用への理解、啓発を呼びかけていく

評価対象	評価項目	具体的数値項目	関係する分掌	達成度			改善状況のまとめ	次年度の課題
				①	②	総合		
I 幼児児童生徒の地域における豊かな生活の実現に向けて努めていますか。	1 保護者、地域、関係機関に学校の教育活動について、具体的に伝えていますか。	①学校公開を年間7回実施し、来校者の90%以上が満足をしている。	教務企画	/	A	A	学校公開日では保護者のみを対象とし、授業の様子を見てもらった。教職員対象の学校参観日では、中学校の先生10名に授業の様子を参観してもらった。	今後も小中学校の教員や地域・事業所の方に授業の様子を見てもらい、学校教育から社会へとつながる教育支援の流れを構築する。学校公開については、密にならないよう計画を立て、実施する。
		②Webページや学校からのたより等で情報発信を行い、保護者の90%以上から満足を得ている。	情報管理	A	A	A	毎月学年通信を発行し、生徒の活動の様子を保護者に伝えた。Webページでも、学校行事等の様子を随時発信した。保護者会では外部講師を招き、進路関係を中心に情報発信を行った。	CMSを利用したWebページの作成及び改善を目指して、多数の職員で研修会に参加し、実現可能なものにしていく。その上で、本校の最新情報が発信ができるよう努める。
	2 保護者、地域、関係機関との共通理解が深まり、有効な支援が行われていますか。	③「個別の教育支援計画」について、保護者の90%以上が内容に満足している。	学習	A	A	A	面談やアンケートを通して、生徒や保護者のニーズや実態把握をした上で支援計画を作成し、保護者に確認してもらった。3年生は卒業後の連携も記載した。保護者が見やすい形式に変更した。	1年生については早い時期に相談週間を実施し、教育支援計画の充実を図る。保護者への説明を丁寧に行い、話し合いの機会を設けて、卒業後を見据えて目標設定や支援方法を策定していく。
		④交流及び共同学習について、年1回以上実施し、保護者や関係機関の90%以上が満足をしている。	交流教育	/	A	A	今年度も学校間交流・地域交流・公民館清掃を計画していたが、新型コロナウイルス感染防止のため、ほとんどが中止となってしまった。藤阿久公民館清掃のみが例年通りに実施できた。	校内Wi-Fi環境が整えば、音楽などの活動がリモートで交流できると思われる。またDVDなどの映像による間接交流、人数を限定というかたちなどでの交流を模索していきたい。
II 地域の特別支援に関するセンター的な役割を果たしていますか。	3 障害のある幼児児童生徒の教育について、助言援助に努めていますか。	⑤地域の高等学校等の求めに応じて相談・支援等を100%実施する。	コーディネーター	A	A	A	桐生・太田・みどりの公立高等学校への訪問相談を実施した。今まで訪問件数の少なかった高等学校への訪問件数が急増したため、1月までの訪問件数が昨年度比318件増となった。	件数の急増に伴い、激務となってしまった。相談記録の簡易化や校務分掌の見直し等で仕事量を調整していかないと高等学校等の求めに応じた相談・支援100%を維持できなくなる恐れがある。
		⑥学校参観日・相談日を中心に本校への来校者を積極的に受け入れ、来校者の90%以上が満足をしている。	コーディネーター	/	A	A	地域の小・中・特別支援学校に、相談日は複数回の参加が可能で、開催日以外にも対応できることを伝えたことで、昨年度比31人増になった。反対に学校参観参加者は、9月からの実施(参観日の回数15回→7回)となったため、昨年度比192人減となった。	今後も、地域の小・中・特別支援学校に参観日や相談日の通知を行うとともに、個別の対応も可能であることを伝えていく。また、密を防ぎながらも、参加しやすいように、参観日や相談日の参加状況をWebで随時公開していく。
III 幼児児童生徒一人一人の実態に応じた適切な指導をしていますか。	4 個に応じたきめ細かな指導を行っていますか。	⑦「個別の指導計画」の内容について保護者の90%以上が満足している。	学習	A	A	A	職員会議や研修等で職員の共通理解を徹底するために意義・作成方法について確認し、記入例や参考例も資料として作成した。保護者と個別面談を行い、目標設定や支援方法を策定した。	「個別の指導計画」においては、保護者との個別面談で丁寧な説明や話し合いを行い、明確な目標設定や支援方法を策定していく。保護者に分かりやすい表現に努める。
		⑧運営委員会、学年会等において生徒の情報交換を毎回実施している。	生活指導	A	A	A	運営委員会毎に学年主任から提供された生徒情報を職員会議で全職員が共有するとともに、職員間ネットワーク掲示板を十分活用することで、全職員がもれなく生徒情報を共有することができた。	ネットワーク掲示板の活用を進め、職員一人ひとりが必要に応じてそのつど生徒情報のアップデートを図ることができるような体制作りをする。
		⑨生活習慣の定着を図るための家庭と学校が連携した取組に保護者の80%以上が満足している。	生活指導	B	B	B	「あたりまえだけどこの10カ条」の項目毎に強化月間を設けて、その内容を学年だよりで紹介するなどの新しい取り組みを行った。	学校での生活指導と家庭における生活習慣の連携を強めるため、「あたりまえだけどこの10カ条」の活用についてよりいっそうの情報提供を図る。
		⑩いじめ未然防止に向けた取組について保護者の90%以上が満足している。	生活指導	A	A	A	「いじめの認知」に関わる情報共有を担任から保護者へ迅速に行い、いじめ防止等の取り組みが生徒保護者に十分伝わるよう、保護者会等の機会を捉えて積極的に情報提供した。	「いじめ」について生徒自身が学ぶ機会を増やし、生徒一人ひとりが安心して学校生活を送れるような居場所を作ることで、いじめの根絶ばかりでなく不登校生徒の状況を改善していく。
IV 健康や安全の確保に努めていますか。	6 健康に関する配慮や対応を適切に行っていますか。	⑫生徒一人一人の健康上の配慮や対応について、保護者の90%以上が満足している。	保健指導	A	A	A	心臓病や腎臓病、医ケア対象生徒については、生活管理表等に基づいて管理にあたり、必要に応じて「個別の緊急時対応マニュアル」を策定した。新型コロナウイルス感染症については、文科省や県教委のガイドラインに沿い、感染症罹患者は見られなかった。	今後も医療機関や家庭と連携し、生徒が持つ基礎疾患等の管理に努めるとともに、流行性の感染症等については、常に流行状況や具体的対応、処置方法等の情報を提供したり、必要な物品を準備したりするなどして、生徒の健康や体調の管理に努めたい。
		⑬健康診断終了後、受診が必要な生徒の受診率が80%以上である。	保健指導	/	B	B	受診勧告書や保護者面談で受診を勧めた結果、心臓病などのハイリスクな疾病を持つ者は、全員が医療機関を受診し、医師の指導を受けることができた。反面、新型コロナウイルス感染症流行のため、治療勧告者の受診率低下が見られた。	医師・保護者と連携しながら、引き続き疾病管理や体調管理に努めるとともに、将来につながる健康維持管理のための保健指導等を充実させたい。予防歯科の観点から歯科衛生指導をより充実させたい。
7 危機管理体制が確立され、緊急時への備えができていますか。	7 危機管理体制が確立され、緊急時への備えができていますか。	⑭危機管理マニュアルをもとに、緊急時の対応策(避難訓練)を年3回以上実施している。	安全対策	B	A	A	前期は、新型コロナウイルス感染症による影響のため、地震時の避難訓練が実施できず、代わりに防災教育「地震から身を守る」を学級指導にて実施した。後期は、各種避難訓練が予定通り実施できた。荒天時のガイドラインを作成し、保護者に周知した。	避難訓練の実施にあたっては、訓練の内容や方法を一部変更して、マンネリ化を防ぐとともに、実際の状況に即した訓練となるよう工夫を重ねたい。また今後は、避難訓練だけでなく、各種防災教育の充実も図っていききたい。
		⑮危機管理に関する職員研修を年3回以上実施している。	安全対策	B	A	A	緊急事態発生時の迅速な対応のため、救命講習、医ケア対象生徒の緊急時対応訓練、不審者侵入時対応訓練を実施した。より安全な学校生活に向け「ヒヤリ・ハット事案」の情報共有に努めた。	今後も関係諸機関との連携を図り、危機管理に関する職員研修の実施と充実を努めたい。「ヒヤリ・ハット事案」の収集を充実させ、状況や原因等の分析を通じて、学校事故の防止策を講じていきたい。
V 将来の生き方に結びつく進路指導を行っていますか。	8 キャリア教育の視点から、指導内容を整理して系統的な指導を行っていますか。	⑯進路学習について、進路講演会等を年3回以上実施し、保護者の90%以上が満足している。	進路対策	B	B	B	進路講演会や各種体験研修など、時期や形態を工夫して行った。今後も情勢を見ながら工夫し実施していく。学年間の情報交換を常時行っていく。	昨今の情勢から、各種講演会や体験研修を当初の予定通り行うことが困難であった。日程や内容を見直し、工夫することでどうにか実施できた。今後も臨機応変な対応が必要となる。
		9 保護者、関係機関との連携のもとに発達段階に応じた進路指導を行っていますか。	進路対策	B	A	A	市町村の支援協議会が未開催および回数の減少傾向にあるが、電話連絡や電子メールなどのやりとりで情報交換できるように努めた。2月中旬に企業向けの学校見学会を実施し、企業への障害者雇用への理解、啓発を呼びかけた。	障害福祉サービス事業所や各関係機関など、最新の情報が発信されているので、電話や電子メールのやりとりなどを通して、今後も情報収集に努める。情勢を見極めつつ、企業との連絡や訪問を通して、啓発を行っていく。

群馬県立太田高等特別支援学校 学校評価一覧表 ③ (令和2年度版)

(様式3)

羅 針 盤			学 校 関 係 者 評 価	達 成 度		
評 価 対 象	評 価 項 目	具体的数値項目		①	②	総合
I 生徒の地域における豊かな生活の実現に向けて努めていますか。	1 保護者、地域、関係機関に学校の教育活動について、具体的に伝えていますか。	①学校公開を年間7回実施し、来校者の90%以上が満足をしている。 ②Webページや学校からのたより等で情報発信を行い、保護者の90%以上から満足を得ている。	・(特例子会社である)自分の会社でも、知的障害のある個性豊かな方が多く働いている。対応に苦心しているところだが、保護者にアンケートを取るといのは、保護者との連携を図る上で良い考えだと思った。是非真似をし、アンケートを取っていきたい。 ・校内Wi-Fi環境が、3月末に整うということである。改善策にもあるとおり、これまでの直接的な交流以外の、新しいやり方も可能になってくるだろう。交流だけでなく、Wi-Fiを利用した、更に工夫された授業展開も期待している。	/	A	A
	2 保護者、地域、関係機関との共通理解が深まり、有効な支援が行われていますか。	③「個別の教育支援計画」について、保護者の90%以上が内容に満足している。 ④交流及び共同学習について、年1回以上実施し、保護者や関係機関の90%以上が満足をしている。		/	A	A
II 地域の特別支援に関するセンタースタッフ的な役割を果たしていますか。	3 障害のある幼児児童生徒の教育について、助言援助に努めていますか。	⑤地域の高等学校等の求めに応じて相談・支援等を100%実施する。	・不本意ながら(本校に)入学する生徒を減らすためにも、中高連絡会などを利用し、中高の連携を取ってってもらいたい。ただ、そうはいつでも、進路変更する生徒数は、低く抑えられている。	A	A	A
		⑥学校参観日・相談日を中心に本校への来校者を積極的に受け入れ、来校者の90%以上が満足をしている。		/	A	A
III 生徒一人一人の実態に応じた適切な指導をしていますか。	4 個に応じたきめ細かな指導を行っていますか。	⑦「個別の指導計画」の内容について保護者の90%以上が満足している。 ⑧運営委員会、学年会等において生徒の情報交換を毎回実施している。 ⑨生活習慣の定着を図るための家庭と学校が連携した取組に保護者の80%以上が満足している。 ⑩いじめ未然防止に向けた取組について保護者の90%以上が満足している。	・本日参観した予餞会はとても完成度が高く驚いた。どのクラスの映像を見ても、生徒一人一人の個性、特性に合った役割が用意されている。日頃から、先生方が生徒をよく見ている証拠だと思った。 ・個性豊かな生徒達を、集団の中でどのように指導しているのか、是非知りたい。 ・先生方が生徒をよく見ているから、生徒同士も友達の特性をよく理解していて、お互いに助け合いながら活動に取り組んでいるのが分かる。 ・校長先生の「コロナ禍でありながらも、先生方が工夫を凝らした指導支援を行い、生徒達はそれに応え、成長している。」の言葉は、とても心強く感じた。 ・学年毎の課題を乗り越えながら、学年を積み重ねているのがよく分かる。 ・社会的状況的にLINEやSNSの使用は避けられない段階に来ていると思われる。いじめ等のトラブルの元になるのは、十分承知だが、卒業後には使用することを考えると、学校で使用方法やメリット、デメリットについて指導してもらえると有り難い。もちろん、家庭との連携、協力が大事になってくる。とても難しいことであるが、是非お願いしたい。	A	A	A
		5 指導内容の確実な定着を図る授業が行われていますか。		⑪授業改善のための研究授業・授業研究会・研修会等を年間4回実施している。	B	A
IV 健康や安全の確保に努めていますか。	6 健康に関する配慮や対応を適切に行っていますか。	⑫生徒一人一人の健康上の配慮や対応について、保護者の90%以上が満足している。 ⑬健康診断終了後、受診が必要な生徒の受診率が80%以上である。	・特別支援学校では、密になりやすい環境だが、それでもコロナが発症していないのは、先生方の指導の賜だと思う。 ・生徒は、先生方の指導でコロナ感染予防を意識した生活習慣を身につけることができた。これは、社会人になっても役に立つものを身につけて卒業することができる。 ・受診が必要にならないように、歯磨き指導を行うのは大切だが、飛沫が飛ぶことも想定されるので、適切な指導をお願いしたい。	A	A	A
		7 危機管理体制が確立され、緊急時への備えができていますか。		⑭危機管理マニュアルをもとに、緊急時の対応策(避難訓練)を年3回以上実施している。 ⑮危機管理に関する職員研修を年3回以上実施している。	B	A
V 将来の生き方に結びつく進路指導を行っていますか。	8 キャリア教育の視点から、指導内容を整理して系統的な指導を行っていますか。	⑯進路学習について、進路講演会等を年3回以上実施し、保護者の90%以上が満足している。	・コロナ禍の中で、実習もままならない中、3年生の全員が進路先を決めているのは、素晴らしいことである。先生方の努力が伺える。 ・(内定100%を踏まえ)どのような指導をしているのか、知りたい。自分の会社でも参考にしたい。 ・勤続5年表彰、勤続10年表彰があることで、卒業生達には働く励みになるだろう。	B	B	B
	9 保護者、関係機関との連携のもとに発達段階に応じた進路指導を行っていますか。	⑰進路先や関係機関との連携について、保護者の90%以上が満足している。		B	A	A